

月刊

# 地域保健

12  
2010

●特集

## 高齢者の孤独死を防ぐ



● FACE 2010  
宇都宮市子ども発達センター 相談グループ係長  
**平石紀子さん**

● OPINION! 保健師さんへ  
寿町勤労者福祉協会診療所所長  
**佐伯輝子さん**



保健師の仕事は長い目で支援することが大切です。

母子保健奨励賞受賞の保健師が語る「母親とのかかわり方」

宇都宮市  
子ども発達センター  
相談グループ係長

平石紀子さん

2009年の第31回母子保健奨励賞

受賞者は15人。その内訳は保健師9人、助産師3人、医師2人、歯科衛生士1人だった。市町村保健師として選ばれたなかに、宇都宮市子ども発達センターの平石紀子さんがいる。

29年間の保健師活動の大半を母子保健に携わってきたという平石さん。受賞のポイントとなつた活動は、乳幼児健診査の体制整備、妊娠期からの一貫した母子保健管理体制の整備、思春期保健事業の開設、学童期における肥満対策の実施、外国人母子への健康情報サービス事業の開始、子育て相談ホットラインの開始、障害児のライフステージに応じた一貫した支援体制の整備など多岐にわたる。市の母子保健の基盤を作り上げた業績が評価されての受賞だった。

栃木県鹿沼市の出身。高校時代にはアナウンサーを目指し放送部に属していたことも。しかし、「栃木弁はアツ

セントの修正が難しい」と路線変更。家庭環境（母が看護師・保健師の資格を持つていた）も影響して、看護学校に進むことに決めた。

学校時代は小児看護に興味を持つていったが、生涯にわたる健康問題は妊娠・乳幼児期に源があることを学ぶにつれ、しだいに母子保健への興味が高まつた。赤ちゃんと母親の目と目が合つて微笑みあう光景——それが平石さんの母子保健のイメージだった。看護学科を卒業すると、自然なりゆきで同じ学校の公衆衛生看護学科へと進んだ。

### 実習で乳房のマッサージ

平石さんと相対していると、保母さんが保育士さんのような印象を受ける。インタビューの合間にみせる笑顔が柔らかい。一見したところ押ししが強くなさそうだが、実はしっかりと

トを押さえている。そんな平石さんの人物像を物語る学生時代のエピソードがある。

実習で家庭訪問に行つたときのこと。訪問先の妊娠さんは妊娠7カ月で2人目の出産を控えていたが2人目という安心感からか、出産の準備を何もしていなかった。平石さんは、2人目は早産になる可能性があるので準備を怠らないようにアドバイスするとともに、母乳で育てることを強く勧めた。



# 高齢者の 孤独死を防ぐ

## 絆の維持に保健師ができること

無縁社会といわれるなか、高齢者の孤独死が問題となっている。地域の健康・安心の守り手である保健師にとっては看過できない大きな問題であるが、他の仕事に忙しくなかなか手が回らないのが現状ではないだろうか。特集では、高齢者の孤独死の実態とその原因について考察するとともに、保健師がこの問題に対して何をすべきかについて考えてみたい。

- P16 高齢者の孤立問題と解決の方向性  
○河合克義（明治学院大学）
- P22 保健師に期待される役割  
○津村智恵子（甲南女子大学）
- P30 孤独死取材を通して感じたこと  
○大山眞人（ノンフィクション作家）
- P38 [Interview]  
常磐平陸地自治会長 NPO 法人 孤独死ゼロ研究会理事長  
中沢卓美さんと聞く  
地域の絆を取り戻し、孤独死をゼロに  
常磐平陸地の取り組み  
○聞き手 編集部
- P44 行政情報を活用し、ひとり暮らし等  
高齢者を民生委員が訪問  
神奈川県相模原市  
○取材 編集部



ひよこ  
保健師

SEASON  
4

第9回

# 秋田を元気にしたい！

運動を生かした保健師活動に挑む

あくやま はづみ  
奥山初美さん

●秋田県国民健康保険団体連合会 事業企画課保健事業班



▲新体操で鍛えてきたからだろう、ごく自然な立ち姿がとても美しい

取材・文・写真／西内義雄（医療・保健ジャーナリスト）



▲岡山さんに大きな期待を寄せる黒沢さん

保健師が働く職場はある程度限られている。これまで紹介してきたひよこさんたちも市町村や都道府県などの自治体所属がほとんどだ。しかし、研修や各機関との連携について話を聞いていくと、国民健康保険団体連合会（国保連）保健師の話題もよく出てくる。

そこで国保連保健師の仕事はどういふものなのか。ひよこさんの取材を通して見てみよう。秋田県最初にお話をうかがったのは、今回ひよこさん直属の上司である秋田県保健師の岡山さんだ。

「私は県内の市町村さんで行つているさまざまな保健事業のお手伝いをさせていただくことが主な仕事です。事業企画課は国保被保険者を対象とした健康づくり事業をはじめ、それらの支援、保険者支援（研修）の企画などをを行っています」

と、まずは国保連の仕事について簡単に説明していただき、昨年度の保健師による保険者支援（健康講話および保健指導）が延べ31回あったこと。生活習慣病予防対策支援事業の共催ヘルスアワープロモーション（講師の選定も含め）にも触れながら、

希望通り、現役で秋田大学医学部保健学科に入学した奥山さん。いつもならここからどう保健師への興味がわいてきたかに話が移るのだが、看護師をやってみたいという思いが強かつたことにしてしまった

保健師には保健師としての力量はもちろん、企画力も必要であるとのお話をあった。

そして紹介されたのが、今年度保健師として採用されたばかりの奥山初美さんだ。

健学科に入学した奥山さん。いつもならここからどう保健師への興味がわいてきたかに話が移るのだが、看護師をやってみたいという思いが強かつたことをしていないこと、たとえ目指そうと